事例No.	2760
公表年度	R5
団体の属性	その他
団体名	地域協同組合　無茶々園

事例区分	地域活性化

タグ	・関係人口 ・福祉・介護

事例種類	地域資源の活用

事例内容・タイトル

地域協同組合無茶々園
～エコロジカルなふるさとづくり～

出典

令和３年度ふるさとづくり大賞事例集

chapter 17



ふるさとづくり大賞 ―団体表彰―

地域協同組合無茶々園

～エコロジカルなふるさとづくり～

地域協同組合　無茶々園（むちゃちゃえん）



取組の概要

1974 年、農薬や化学肥料の使用を前提とした近代的な農業に疑問を持った農業者が、農地を借り受け、有機栽培での伊予柑栽培を始めた。有機農業の開始から 40 年以上にわたり「エコロジカルなむらづくり」を掲げて、柑橘を中心とした農業生産だけでなく、柑橘を使った地域発のブランド開発、漁業者と連携した環境維持活動、福祉事業への参画、新規就農者の確保・育成の他、段々畑を活用した観光事業や廃校となった小学校の活用などを通じて、ふるさとづくりに積極的に取り組んでいる。

取組のプロセス

1974年～　きっかけ
近代農業に疑問を持った青年農業者３名が立ち上がり、伊予柑有機栽培開始

- 経営的に成り立たないという不安
- 有機栽培への理解

1989年～　有機栽培の拡大
- 農事組合法人無茶々園への移行
- 構成員、消費者の拡大
- 販路開拓、販売部門の強化
- 無農薬および無化学肥料栽培




- 農業分野と他分野との連携
- 台風 19 号による塩害で柑橘が大打撃を受ける

1991年～　地元漁業者との連携
- 水産物の加工・販売
- 廃油石鹸づくり



- 農業の後継者確保と育成

1998年～　研修生受入体制の充実
- 研修生の宿泊施設の設置
- 海外からの研修生受入れ



- 柑橘類の生産だけでなく新しい価値を生み出せないかという考えからブランド化

2012年～　地域ブランド「yaetoco」の開発、販売
- 柑橘の果皮エキスや真珠貝などを主原料としたコスメブランドの設立
- 全国の専門店等で販売、拡大




2013年～　福祉事業への参入
- デイサービス事務所の開設、女性のホームヘルパーを中心に活動

2016年～　廃校利活用を開始
- 旧狩江小学校を地域の有志と共に借り入れ



今後の展望
- **出荷施設を整備し、柑橘栽培の継続性を高める**
- **海外の農村と事業を通して協業できる新たな地域づくりを目指す**

DATA

事例名：『エコロジカルなふるさとづくり』
　　地域協同組合　無茶々園
所在地：愛媛県西予市明浜町狩浜２番耕地 1350 番地
連絡先：TEL　0894-65-1417
　　FAX 0894-65-1638
ホームページ：http://www.muchachaen.jp

